

おか やま
岡山カルチャーゾーンミュージアムの使い方

おか やま けん りつ び じゅつ かん
岡山県立美術館の
「あいうえお」



もくじ

おか やま けん りつ び じゅつ かん 岡山県立美術館の



あ	岡山県立美術館は どんなところ?	4
い	岡山県立美術館を どうやって使うの?	7
う	岡山県立美術館には どうやって行くの?	22
え	岡山県立美術館で できること	26
お	岡山県立美術館からの メッセージ	35

特徴

みじか ぶん しょう
短い文章

わかりやすい表現

みやすい文字の形

かん じ
漢字にふりがな

え しゃ しん
絵や写真による説明



おか やま けん りつ び じゅつ かん
岡山県立美術館の「あいうえお」を 読むことで、
び じゅつ かん
美術館や、その中^{なか}で できることが わかります。
い まえ
行く前に 読みましょう。
び じゅつ かん も
美術館に 持っていても いいです。

おか やま けん りつ び じゅつ かん

岡山県立美術館は どんなところ？

おか やま けん りつ び じゅつ かん は、1988年 に 開館 しました。

「**県美**」とよばれています。

大きな 2つの 展示室 が あります。

ショップ、カフェなども あります。

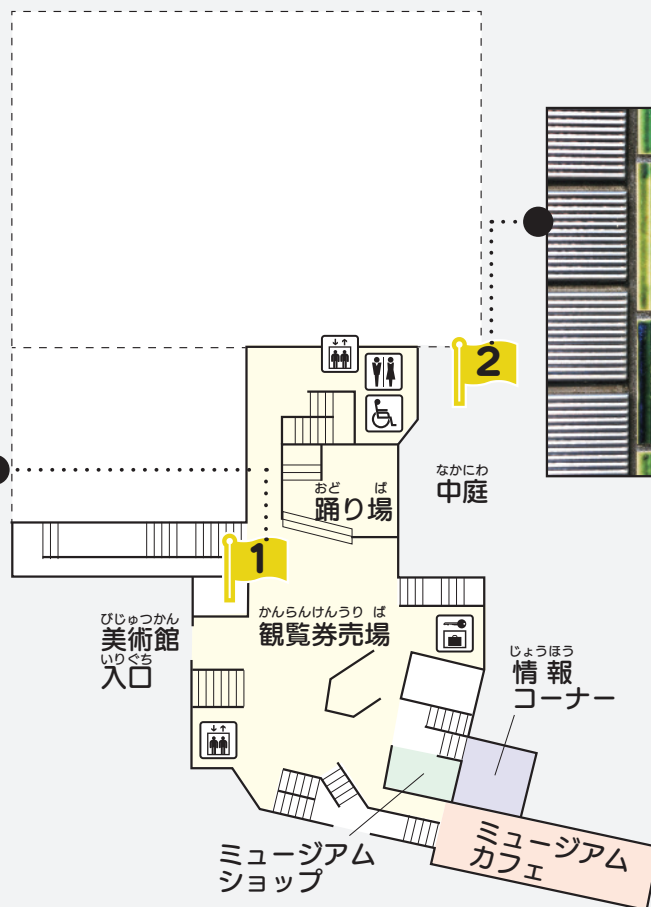
建物は 建築家の 岡田新一さんの 設計です。

4～5ページの 4つの 写真は、

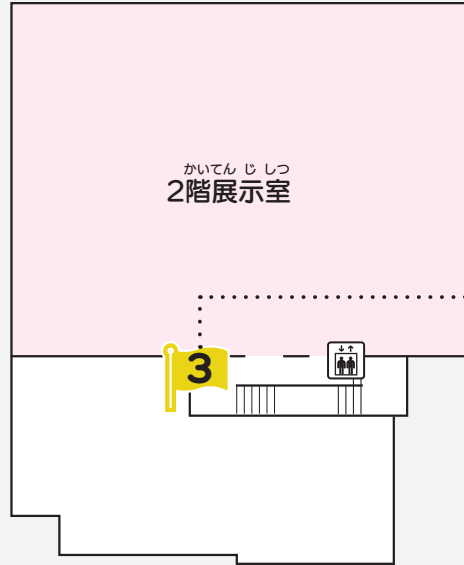
県美の 特徴が わかる ところです。

写真の 説明は「知ると楽しい 豆知識」(37ページ)に あります。

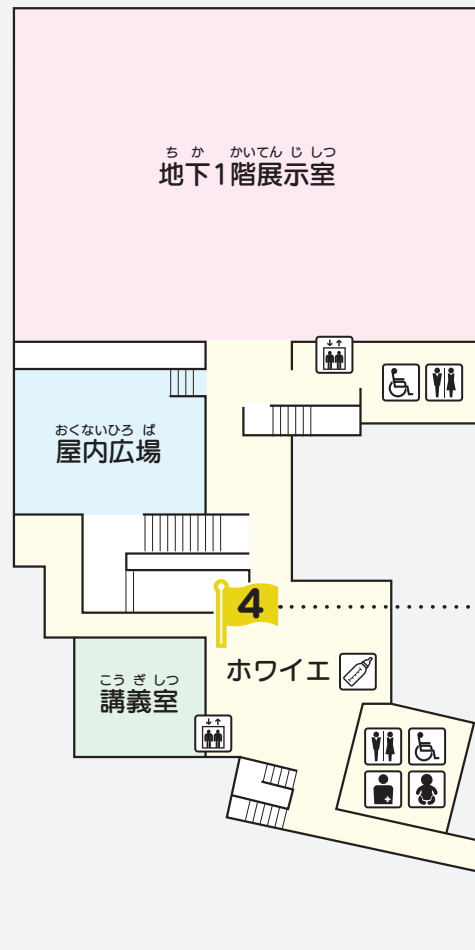
1階



かい
2階



ちか かい
地下1階



◎美術館が持っている作品

岡山県立美術館には、岡山に 関係のある 作品が 約5,000点あります。

美術館の「展示室」では、作品を みるこゝろができます。

下の 4点の 作品は、県美が 持っている作品です。

展示は かわるので、みられないこゝろもあります。



雪舟等楊 《山水図(倣玉潤)》 15世紀



原田直次郎 《風景》 1886年



大西伸明 《mini kupa》 2008年



伊勢崎淳 《備前角花入》 2008年

(作品を 制作した人の名前、《作品名》、制作年 (時代) の 順に 書いています)

おか やま けん りつ び じゅつ かん つか 岡山県立美術館を どうやって使うの？

○行く前に 調べます



おか やま けん りつ び じゅつ かん
岡山県立美術館の ウェブサイト (<https://okayama-kenbi.info>)

び じゅつ かん へ いく 日 の こと を ウェブサイト で 調べます。

その 日 開催 している 展覧会 の 内容 や、

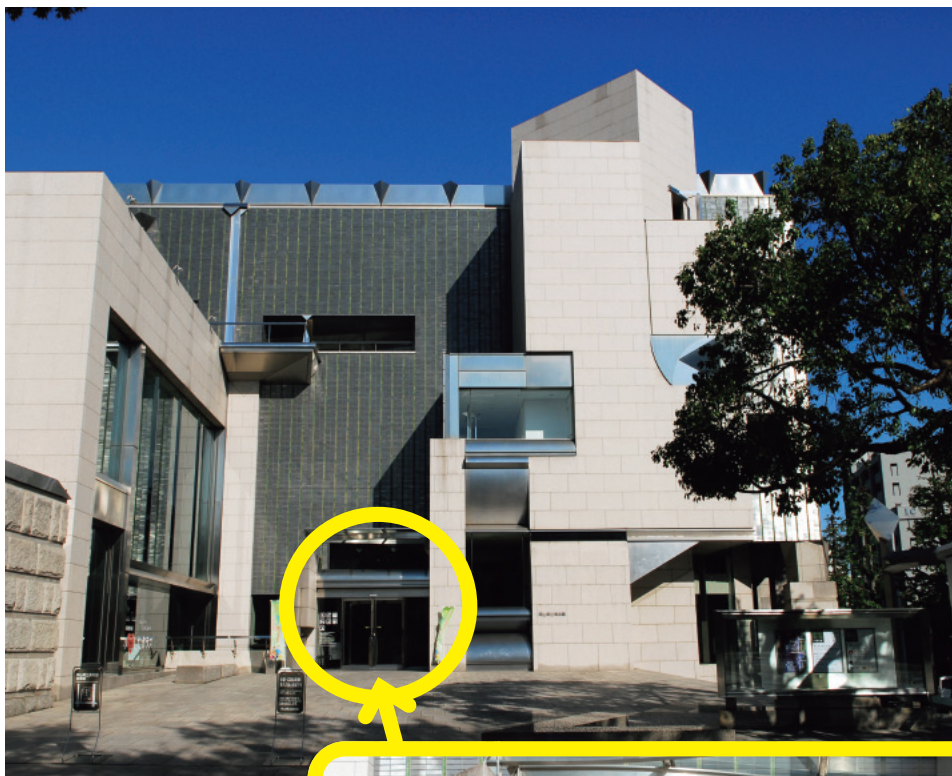
イベント などを、確認 します。

お金 が いくら かかる かも 調べます。

美術館 の 休みの 日 や 開いている 時間も 調べます。



び じゅつ かん はい
○美術館に 入ります



び じゅつ かん いり ぐち たて もの しょうめん
美術館の入口は、建物の正面に あります。

観覧券を 買います



展示室に 行く前に、観覧券を 買います。

観覧券は、「観覧券売場」で 買うことができます。

入り口を入った 正面の奥に 観覧券売場が あります。

みたい 展示会の 名前を 伝えます。

お金を はらって 観覧券を 買い、受け取ります。

他の人が 観覧券を 買っている ときは

自分の 順番が 来るまで 待ちます。

割引きや 無料で みられる 場合があります。

スタッフに 聞きます。

◎^{かい てん じ しつ}2階展示室に ^い行くとき



これから、^{さく びん}作品を ^{てん じ しつ}みに ^い展示室へ 行きます。

^{てん じ しつ}展示室は、^{かい てん じ しつ}2階展示室と ^{ち かい てん じ しつ}地下1階展示室が あります。

それぞれ ^{いり ぐち}入り口が 分かれています。

^{かい てん じ しつ}2階展示室へは、^{おお かい だん}大きな階段を ^{つか}使って ^{かい}2階に ^あ上がります。

^{おお かい だん}大きな階段の ^{おく}奥にある ^いエレベーターで 行くこともできます。

◎地下1階展示室に行くとき



地下1階展示室へは、大きな階段の左手前にある下に降りる階段を使って地下1階に行きます。

大きな階段の奥にあるエレベーターで行くこともできます。

◎ 展示室に 入ります



展示室に入るには、観覧券が必要です。

それぞれの展示室の入り口には、スタッフがいます。

スタッフに、観覧券をみせてから入ります。

観覧券はなくさないように（ポケットやおさいふの中に）しまいます。

展示をみている途中でトイレに行きたくなったら

展示室にいるスタッフにそのことを伝えます。

◎ 作品をみる場所



展示室では、たくさんの作品をみることができます。

展示室の中は、人がたくさんいることもあります。

少し暗いところもあります。

光や音が出る作品を展示することもあります。

展示室から出たくなったときは、自由に外出することができます。

また、展示室の中では、物を食べたり飲んだりすることができません。

◎ ^{さく ひん}作品を ^{みる}とき



ゆっくり ^{ある}歩きます。
^{はなし}話を ^{する}ときは、^{ちい}小さな ^{こゑ}声で ^{はな}話します。
^{さく ひん}作品には さわりません。



ゆか
床に「さく」や「テープ」の
め じるし
目印が あります。
め じるし
目印より うしろに さ
下がって
さく ひん
作品を みます。



さく ひん
作品が「ガラスのケース」に
はい
入っていることが あります。
だい うえ
「台」の上に
お
置かれていることも あります。

ガラスのケースや だい
台に
さわらず、
よりかからないで みます。

び じゅつ かん
○美術館を 出ます



で ぐち いり ぐち おな ば しょ
出口は、入口と 同じ場所です。

でる まえ わす もの かく にん
出る前に 忘れ物がないか 確認します。

◎トイレに 行くとき



トイレは、美術館の入口がある建物の地下1階、
そして、展示室がある建物の1階と地下1階にあります。
誰でも利用することができます。

4～5ページに、地図があります。

トイレの場所は、少しわかりにくいです。

わからないときは、近くに いる スタッフに 聞きます。

やす ◎休みたいとき



てんじしつなか
展示室の中



かいおどば
1階 踊り場



ちかかいおくないひろば
地下1階 屋内広場



かいなかにわ
1階 中庭

びじゅつかん きゅうけい ばしょ
美術館には、休憩をする場所があります。

てんじしつ なか いす すわ さくひん
展示室の中では、椅子に座って作品をみることが出来ます

また、かい おどば なかにわ
また、1階には 踊り場や 中庭があります。

ちかかいおくないひろば
地下1階には 屋内広場があります。

4～5ページに ちず
4～5ページに 地図があります

これらの場所では、ばしょ てんらんかい おこな
これらの場所では、展覧会や イベントなどが 行われることも
あります。

◎^{に もつ}荷物を あずけるとき



コインロッカーは、^{かんらんけんうりば}観覧券売場に ^む向かって ^{ひだりおく}左奥に あります。
コインロッカーを ^{つか}使うと、^{に もつ}荷物を ^も持たないで
^{さくひん}作品を ^{みる}みるこが ^{でき}できます。

コインロッカーに ^{に もつ}荷物を ^お置きます。次に100円玉を
^い入れて ^{かぎ}カギを ^{しめ}しめます。ぬいた ^{かぎ}カギは、なくさないように
(ポケットや ^{おさいふ}おさいふの ^{なか}中に) ^{しま}しまいます。
100円玉は、^{えん だま}カギを ^{あけ}あけるときに ^{もど}戻ってきます。

☉ 傘を置くとき



傘を持っているときは、入り口にある
傘立てに置きます。

折りたたみの傘は、カバンにしまってもいいです。

カギがついている傘立てもあります。

傘を入れたら、100円玉を入れてカギをしめます。

ぬいたカギは、なくさないように

(カバンやおさいふのなか中に) しまいます。

100円玉は、カギをあけるときのもとに戻ってきます。

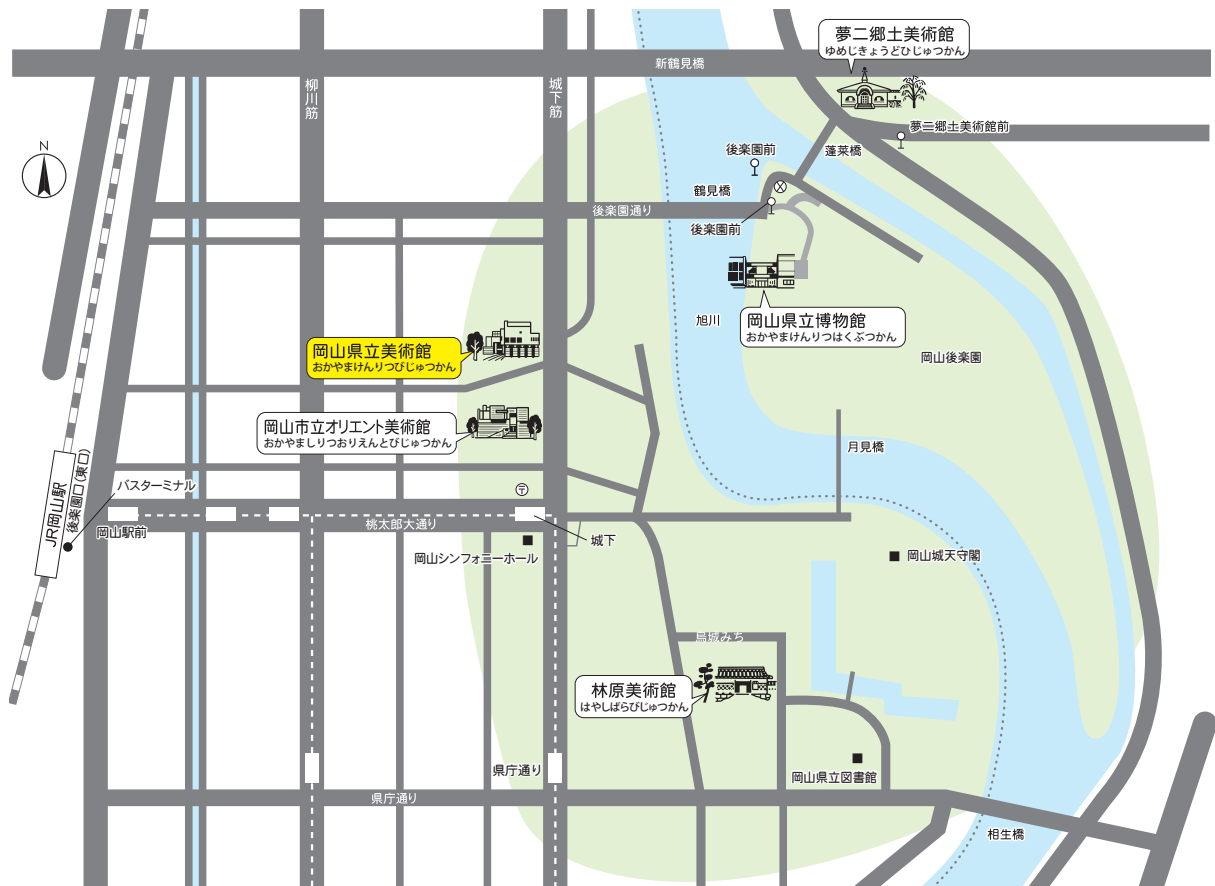
◎わからないことを 聞きたいとき



美術館には、わたしたちを 迎えて くれる
さまざまな スタッフが います。
スタッフは 名札を つけていたり、制服を 着ています。

美術館について わからないことや 困ったことが あるときは、
「観覧券売場」にいる スタッフに 聞きます。
他のスタッフに 聞いても いいです。
そのスタッフは よろこんで 手伝って くれます。

おか やま けん りつ び じゅつ かん
岡山県立美術館には どうやって行くの？



うえの地図から 岡山県立美術館が どこにあるか 見つけます。

岡山県立美術館へは、歩いて行く方法と 路面電車で
 行く方法が あります。

岡山駅から 歩くと 15分ぐらい かかります。

路面電車で 乗る時は、岡山駅から 東山行きに 乗ります。

「城下」で 降ります。

路面電車で 乗るときは、お金が かかります。

「城下」から 歩いて 5分ぐらいの ところに あります。



ろ めん でん しゃ しろ した けん び い
◎路面電車の「城下」から県美への行きかた



しろ した お
「城下」で 降ります。
おう だん ほ どう ほ う す す
横断歩道の方へ 進みます。



おう だん ほ どう み ぎ わ た
横断歩道を 右に 渡ります。



おう だん ほ どう わ た
横断歩道を 渡ったら
み ぎ ま
右に 曲がります。
ほ どう す す
歩道に そって 進みます。



歩道に そって 左に
曲がります。
そのまま 歩道に そって
進みます。



オリент美術館を 左に
みながら そのまま
進みます。



RSK山陽放送を 左に
みながら そのまま
進みます。
その先の 横断歩道を
渡ります。

び じゅつ かん とう ちやく
○美術館に 到着



おう だん ほ どう わた いし できた おお ひろ ば
横断歩道を 渡ると 石で できた 大きな 広場が
あります。

その奥の 石やガラスで できた
たて もの おか やま けん りつ び じゅつ かん けん び
建物が、岡山県立美術館（県美）です。

おか やま けん りつ び じゅつ かん
岡山県立美術館で できること

○^{き ねん}記念スタンプを ^{おす 場所}が ^{あ り ま す} あります



^{き ねん}記念に スタンプを おすことが
できます。

^{び じゅつ かん}美術館にある「^{き ねん}記念スタンプの^{だい し}台紙」に
おすことが できます。

^{じ ぶん}自分で ^も持ってきた ^{かみ}紙に
おすことも できます。

^{つか}使ったスタンプは、もとに ^{もど}戻します。

◎ミュージアム・ショップが あります



1階^{かい}にある「ミュージアム・ショップ」は、
作品^{さくひん}のポストカードやグッズを
売^うっているお店^{みせ}です。

お土産^{みやげ}を^かうことができます。

特別展^{とくべつてん}があるときは、地下1階^{ちがかい}の「屋内広場^{おくないひろば}」が
ミュージアム・ショップになることも あります。

じょうほう
○情報コーナーが あります



ミュージアム・ショップの ^{おく}奥に「^{じょうほう}情報コーナー」が あります。

^{ほか}他の ミュージアムの^{じょうほう}情報を ^{しょうかい}紹介している チラシが
^お置いてあります。

^{じゆう}自由に ^も持ち帰る ^{かえ}ことができます。

^{ほか}他の ミュージアムへ ^い行く ^{とき}時の ^{さんこう}参考にすることが できます。

◎ミュージアム・カフェが あります



1階^{かい}にある「ミュージアム・カフェ」は、
飲みものを飲^のんだり、食^{しょくじ}事をしたりする場^ば所^{しょ}です。
お金^{かね}が かかります。

なか にわ
◎中庭が あります



1階踊り場から、中庭に出ることができます。
出入口のドアは、開けたら閉めてください。

び じゅつ かん
○ 美術館を もっと楽しむ たの



おか やま けん りつ び じゅつ かん
岡山県立美術館の ウェブサイト (<https://okayama-kenbi.info>)



おか やま けん りつ び じゅつ かん
岡山県立美術館では、だれ たの
誰もが 楽しめるように、
さまざまな イベントを よう い
用意しています。
イベントについての くわしい じょう ほう
情報を 知りたいたときは、
び じゅつ かん
美術館の ウェブサイトの「イベント」を しら
調べます。

なに かく にん
何か 確認したいことが あるときは、
つぎ れん らく さき
次の [連絡先] で き
聞くことができます。

れん らく さき
[連絡先]

でん わ
電話：086-225-4800 (かい かん び じ
開館日の9時から 17時まで)

メール：kenbi-entry@pref.okayama.jp

じゅう しょ
住所：〒700-0814 おか やま けん おか やま し きた く てん じん ちょう
岡山県 岡山市 北区 天神町 8-48

◎ ^{こうぎしつ}講義室や ^{ホール}ホールが あります



^{ちか}地下1階の「^{かい}講義室」や ^{こうぎしつ}2階の「^{かい}ホール」では、
^{てんらんかい}展覧会や ^{びじゅつ}美術についての ^{はなし}お話を ^き聞くことも できます。

けんしゅうしつ
◎ 研修室が あります



ちか かい けんしゅうしつ
地下1階の「研修室」では、
てんらん かい びじゅつ たの
展覧会や 美術を 楽しむ ワークショップを
たいけん
体験することも できます。

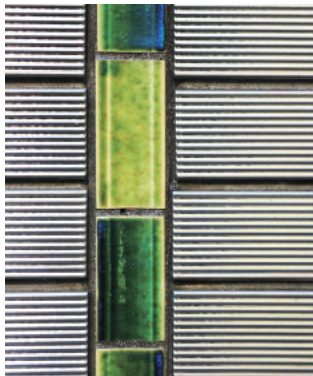
○^{し たの}知ると楽しい ^{まめ ち しき}豆知識

1



地下展示室へ降りる階段の手間に、作品があります。岡山県立美術館を設計した岡田新一さんは、美術館の建築に使っている素材でこの作品をつくりました。それぞれの素材のさわり心地の違いを感じてみましょう。

2



石、タイル、金属の3つの素材を組み合わせ、岡山県立美術館の外壁はつくられています。有田焼でつくられた緑色のタイルは、細くて硬い「竹」をイメージしてします。さわって、表面のさわり心地を感じてみましょう。

3



展示室の中は、展示作品にあわせて照明の光を調整しています。展示室の外は、天窓から自然の光をたくさん取り入れて明るい空間をつくりだしています。2階展示室への階段を上がりきると天窓をまぢかで見ることができます。

4



地下1階ホワイエの外には、「光庭」と名付けられた空間があります。岡山県を代表する万成石と備前焼を組み合わせでつくられた空間です。

よくみると数字や文字のようなものが万成石に刻まれています。

美術館からのメッセージ



美術館に 一日中 いる人も いれば、

短い 時間を 過ごす人も います。

また、一人で 一つの作品を じっくりと みる人も、

誰かと 作品をみて、感じたことを 伝え合う人も います。

楽しみ方は、人それぞれです。

大切なのは 私たちが それぞれの ペースで

美術館での 時間を 楽しむことです。

ちか ほか い
 ◎ 近くにある 他のミュージアムにも 行ってみましょう

岡山県立美術館
 おかやまけんりつびじゅつかん

夢二郷土美術館
 ゆめじきょうどびじゅつかん

岡山県立美術館
 おかやまけんりつびじゅつかん

岡山市立オリエント美術館
 おかやましりつおリエんとびじゅつかん

岡山県立博物館
 おかやまけんりつはくぶつかん

林原美術館
 はやしはらびじゅつかん

おかやま
 岡山カルチャーゾーンには 5つのミュージアムが あります。
 ある
 歩いて まわることも できます。誰でも 行くことも できます。

岡山カルチャーゾーンミュージアムの使い方

岡山県立美術館の「あいうえお」とは

岡山県立美術館の「あいうえお」とは、主に神経発達症の方とその家族や関係者をサポートする社会学習ツールです。社会的な状況や行為などを、絵や写真を使い、やさしい文章で説明します。当事者と関係者とが、その時の状況や内容などの情報を互いに理解し、安心できる状態をつくることを目的としています。

カルチャーゾーン・ミュージアムラーニング・プロジェクトでは、神経発達症の方をはじめ、ミュージアムをはじめて訪問する方、利用に不安を感じる方などが、どなたでもミュージアムを楽しみながら過ごすことができるように、当事者や関係者、医療関係の専門家の協力を得ながら、この「あいうえお」を作成しました。

「あいうえお」では、写真や文章で入館から退館までの様子が説明されています。建物の内外でのルールを事前に知ること、見通しをもって、安心して過ごす手助けとなるように構成しています。

5つのミュージアムのウェブサイトでは、各ミュージアムの「あいうえお」を公開しているので、訪問前にお使いください。ご来館をお待ちしています。

おか やま つが かた
岡山カルチャーゾーンミュージアムの使い方
おか やま けん りつ び じゅつ かん
岡山県立美術館の「あいうえお」

はっ こう び ねん がつ
発行日：2024年2月

き かく へんしゅう
企画・編集：カルチャーゾーン・ミュージアムラーニング・プロジェクト

しや しん あき やま よし くに あき やま しや しん じ む しよ おか やま けん りつ び じゅつ かん
写真：秋山嘉邦（秋山写真事務所）／岡山県立美術館

はっ こう おか やま けん りつ び じゅつ かん がっ こう び じゅつ かん れん けい い いん かい
発行：岡山県立美術館 学校と美術館の連携委員会

じゅうしよ おか やま けん おか やま し きた く てん じん ちやう
住所 〒700-0814 岡山県岡山市北区天神町8-48

おか やま けん りつ び じゅつ かん ない
岡山県立美術館内

でん わ
電話 086-225-4800

せい ざく かぶ しき がい しや なか の
制作：株式会社 中野コロタイプ

カルチャーゾーン・ミュージアムラーニング・プロジェクト／メンバー

きの した ひろし おか やま けん りつ はく ぶつ かん がく けい いん しゅ にん
木下 浩（岡山県立博物館学芸員（主任））

おか ちと ゆう こ おか やま けん りつ び じゅつ かん しゅ にん がく けい いん
岡本 裕子（岡山県立美術館主任学芸員）

かわ さか り さと おか やま し りつ び じゅつ かん ぶく しゅ さ
川阪 理智（岡山市立オリエント美術館副主査）

はし ちと りやう はやし ばら び じゅつ かん しゅ にん がく けい いん
橋本 龍（林原美術館主任学芸員）

ひら まつ さと み ゆめ じ きやう ど び じゅつ かん がく けい いん
平松 里美（夢二郷土美術館学芸員）

〔アドバイザー〕

おお の しげる い りやう ほう じん おお の り じ ちやう い がく はか せ
大野 繁（医療法人 大野はぐくみクリニック理事長・医学博士）

あか ざり か こ おか やま だいがく がく じゅつ けん ぎやう いん きやう いく がく い ききやう じゅ
赤木里香子（岡山大学学術研究院教育学域教授）

たか お ひろ み こう どう がい しや だい ひやう
高尾 戸美（合同会社マーブルワークシヨップ代表）



令和5年度
文化庁 Innovate MUSEUM 事業

